

将来の価値創造に向けた重要課題

DXによる競争力強化

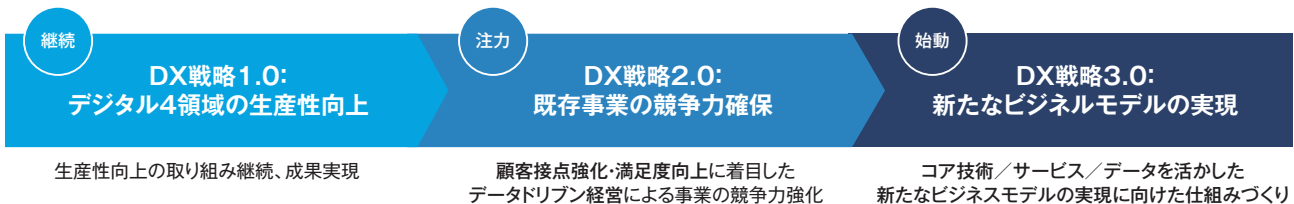
素材・化学産業にとって、サステナブルな社会の実現に向けた製品やソリューションの提供は事業創出のチャンスである一方、製品ライフサイクルの短縮化などが進んでいることから、デジタル革新の取り組みを通じて事業の競争力を高めることが求められています。当社はデジタル革新を通じ、イノベティブな人材、高いアジリティを持つ組織風土を作り出し、お客さまへ新しい価値を提供します。



22-24年度中期経営計画における全体戦略

DX戦略1.0で実施してきた研究開発、プラント、サプライチェーンマネジメント、オフィスの4領域における生産性向上の取り組みと並行して、今後は各事業部門主導で事業特性に応じたDX課題に取り

組み、各事業での競争力強化につながるDX戦略2.0および新たなビジネスモデルの創出を目指すDX戦略3.0に注力します。



DX戦略2.0における2つの柱

1 リアルタイムで質の高い意思決定の実現

事業部門が中心となって事業特性に応じたDX課題に対応するとともに、高度にデータを利活用できる環境を整備

収集

社内外で発生するデータを戦略的、効果的に収集します。

- 工場データ
- 研究データ
- ビジネスデータ 等

蓄積

収集したデータを加工・集計し、データをいつでも、迅速に使うことができる形で蓄積します。

- データ資産化、連携

利活用

蓄積したデータを、ユーザーが可視化・分析ツール等を用いて利活用し、データ駆動型の意思決定ができるようにします。

- 分析・可視化による価値創出

リアルタイムで
質の高い
意思決定

2 DX人材の確保

全部門へのDX人材配置を目標に、R&D・生産系に加えて、ビジネス系DX人材の育成に取り組むことで、全社としてDXを推進していきます。

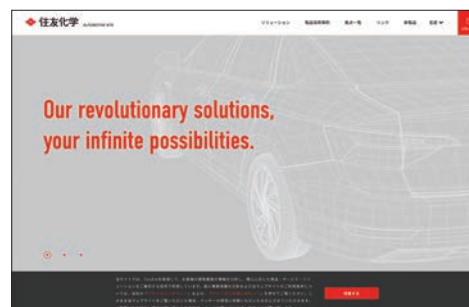
| | | |
|---------------------|--|----------------------|
| 研究開発・製造部門 | 実業務でデータ解析・利活用できる人材を拡充します。 | |
| データサイエンティスト | 高度なデータ解析技術をもち、個別のテーマ支援と合わせて、全社的なデータサイエンスの普及・定着に向けた要素技術の現実実装を図る人材 | 24年度累計目標 30名 |
| データエンジニア | 高度なドメイン知識とデータ解析手法を組み合わせ、課題の具体解決を図る人材 | 24年度累計目標 300名 |
| 事業・本社部門 | 全部門へのDX人材配置を目標に育成を本格的に開始します。 | |
| ビジネストランスレータ | 事業全体の課題解決のために適切なデジタル技術を選択し、導入をリードする人材 | 24年度累計目標 150名 |
| ビジネスデータアナリスト | 担当事業の実務を理解したうえでデータを利活用し、業務改善を進めることができる人材 | 24年度累計目標 100名 |
| 全部門・全階層 | DXリテラシー向上のための教育を実施します。 | |

DX戦略2.0取り組み事例

住友化学 Automotive Site

潜在顧客の情報収集やコミュニケーション方法の変化を踏まえ、自動車関連素材のソリューションを広く提案する事を目的に、2020年に新たなウェブサイトを立ち上げました。今後、デジタルツールや展示会の活動を組み合わせることで、当社素材がもたらす価値についてより広く訴求していきます。また、ウェブ上での潜在顧客の反応や関心に応じた最適な提案を行うことで、広く社会に貢献していきます。

📍ウェブサイト「住友化学Automotive Site」



病害虫診断アプリ「EXPESTS」

利用者が投稿した病害虫画像をAIが診断して病害虫を識別することで、有効な農薬を提案するアプリを開発しました。顧客との直接的な接点を増やすことによる新たな価値創造ルートの開設やコーポレートブランドの確立を目的に、2021年3月から運用を開始しています。

📍ウェブサイト「病害虫診断 EXPESTS -エクスベスツ-」



TOPICS

DX リポジトリ[※]

2020年から2年連続で、社内イベント「DXリポジトリ」を開催しました。このイベントは、講演やパネルディスカッションなどを通じて、社内各所で推進しているDXに関する取り組み事例を全社で共有し、デジタル革新をさらに加速させることを目的としています。社員はもちろん、社外取締役を含む役員も参加するとともに、デジタルツールを活用してグループ会社へのライブ配信・オンライン交流も実施しました。グループ一体でDXに取り組む姿勢が表れたイベントとなりました。

※複数のデータや情報などが体系立てて保管されているデータベースを指すデジタル用語。



DXリポジトリのプログラム(一部)

- 経営陣による講演「住友化学のDX戦略」
- 外部有識者による講演「DX戦略2.0に向けて」
- 4領域の実務担当者による事例発表、3つの共通テーマについてパネルディスカッション
 - 「業務、手続き効率化のDX」
 - 「データ収集、利活用のDX」
 - 「顧客体験向上、新規ビジネスへのDX」
- 各事業部門・グループ会社のDX推進担当者による事業競争力強化のチャレンジ事例発表とディスカッション



友野社外取締役によるコメントの様子



当日のディスカッションの様子